

次期愛知県スポーツ推進計画（仮称）骨子案に対する御意見及び県の考え方

番号	該当部分	御意見の概要	本県の考え方
1	基本施策の体系 Ⅰ 多様な主体におけるスポーツに関わる機会の創出	高齢世代の方で、元プロのシルバースポーツマンやアマチュアでキャリアのある方などが組織を作り、若い世代と一緒に幅広くスポーツを行うことや、教室を作って学んでもらうことといった、高齢世代と若い世代とが一つの目標に向かって何かを達成して学んでもらうような取組が、スポーツ推進に向けては必要なのではないか。	スポーツを通じた多世代交流はスポーツが果たす役割の一つであり、多世代・多視点・多志向を特徴とする総合型地域スポーツクラブの活動支援について次期計画に盛り込み、交流を促進してまいりたいと考えております。 また、元プロやアマチュアのキャリアのある高齢世代の方の経験や技術を若い世代に還元していくことも重要であり、地域スポーツの振興に効果的であるものと認識しております。そのため、総合型地域スポーツクラブや学校部活動の指導員など、様々な形で能力・意欲を活かすことができるよう、取り組んでまいります。
2	基本施策の体系 Ⅰ 多様な主体におけるスポーツに関わる機会の創出	スポーツに触れる機会が少ない障害のある人は、学校を卒業すると日常生活を送る場で体を動かす機会は極端に減少する。そのため、気軽に体を動かす運動の普及が、障害のある人の健康づくりの点からも必要と考える。また、市町村の福祉担当課に「気軽に体を動かす運動の手引き」を置いたり、愛知県の福祉ガイドブックに掲載するなど、福祉行政と一体となった取組も重要ではないか。	御指摘のとおり、運動・スポーツは健康保持や身体機能の維持の観点からも有効であり、障害者が身近な地域において運動・スポーツに親しんでいただくため、総合型地域スポーツクラブにおけるプログラムの充実や、医療機関等への競技用具の貸与などの取組、また障害者スポーツの普及に向けたイベントの開催などを次期計画に盛り込み、取組を進めてまいります。 いただいた御意見を踏まえ、また関係局と適切に連携しながら、引き続き運動・スポーツの実施促進や障害者スポーツの普及に努めてまいります。
3	基本施策の体系 Ⅰ 多様な主体におけるスポーツに関わる機会の創出	障害者スポーツの普及に向け、愛知県のホームページに障害者スポーツのコーナーを設け、ボッチャ、フリスビー、卓球バレーなど「気軽に体を動かす運動」の動画や、ペットボトルを使ったダンベル体操など道具の作り方を含めた動画配信を行うことも必要ではないか。	
4	基本施策の体系 Ⅰ 多様な主体におけるスポーツに関わる機会の創出	障害者施設職員や障害の運動に興味・関心のある方を対象に、障害者スポーツ指導員養成講習会を複数地域で実施する計画とすべき。	障害者スポーツ指導員の資質向上に向けて取り組むとともに、スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブの関係者等を対象とした研修会の実施など、障害者スポーツの指導者確保に向けた取組を進めているところです。 今後の施策については、いただいた御意見も踏まえて検討するとともに、指導者確保に向けた取組の方向性について、次期計画に明記してまいります。
5	基本施策の体系 Ⅰ 多様な主体におけるスポーツに関わる機会の創出	名古屋市スポーツセンターと同様の施設を、県の圏域ごとに交通の便が良い場所に設置することを計画に明記すべき。	いただいた御意見は、今後の施策の参考としてまいります。 なお、特別支援学校の体育施設を学校教育活動に支障のない範囲で活用するなど、既存施設の有効活用の面からも、地域のスポーツ環境の整備に向けた取組を進めており、こうした取組を次期計画に盛り込んでまいります。
6	基本施策の体系 Ⅱ 子どものスポーツ活動の充実	部活動の地域移行の前に、まずはスポーツ指導ができる正規の教職員を雇用すべき。スポーツ系大学には「健康運動指導士」の資格を取った若者が多くいるが、こういった若者が安定して活躍できる場を創出していくべき。	公立学校教職員の採用については、今後も多様な人材の確保と資質向上に向けて適切に取り組んでまいります。 なお、「健康運動指導士」の資格を持つ若者の活用に関する御意見については、今後の施策の参考としてまいります。
7	基本施策の体系 Ⅲ トップアスリートの育成、活躍支援	あいちトップアスリートアカデミー（パラアスリート部門）が設けられているが、パラリンピック競技選手、デフリンピック競技選手、競技指導者の養成について愛知県の方針が曖昧ではないか。国際的に活躍する選手を育成する計画はあるのか。	昨年度（2021年度）から、あいちトップアスリートアカデミーにパラアスリート部門を設け、国際大会で活躍するパラアスリートを多数輩出するための取組を進めており、次期計画にもこの取組を盛り込んでまいります。 2026年に開催される第5回アジアパラ競技大会も見据え、パラアスリートの育成や、競技力向上に向けた支援に引き続き取り組んでまいります。
8	基本施策の体系 Ⅴ スポーツによる地域活性化	「豊橋市新アリーナ」の建設について、豊橋市は市民の賛否を問うべき。アリーナ計画で最も心配しているのは事業収支であるが、赤字運営となった場合は税金で補填するのか。	
9	基本施策の体系 Ⅴ スポーツによる地域活性化	「豊橋市新アリーナ」を豊橋公園に建設することに反対している。県民・市民の意見を聞くことが必要なのではないか。	御意見として参考とさせていただくとともに、関係機関に情報共有させていただきます。